

項目	新講座名（仮名称）	内容概要	担当職種	講義時間の目安	申し込み締め切り時期
1	嚥下評価と食事介助研修 ～安全な食事形態の選び方と介助の基本～	嚥下の評価と食事形態、また介助方法を説明する	リハビリ	質疑応答含め 45分	50日前
2	褥瘡予防に活かすポジショニングの考え方	褥瘡予防とポジショニングの関係性、また離床の重要性を説明する	リハビリ	質疑応答含め 45分	50日前
3	PEG（胃ろう）管理について ～安全・清潔に行うための実践ポイント～	職員がPEG管理に自信を持ち、安全で清潔なケアができるようになる	看護部	質疑応答含め 30分	50日前
4	尿道カテーテル管理について ～感染防止と安全なケア～	職員が安全で清潔なカテーテル管理を理解し、感染を防げる	看護部	質疑応答含め 30分	50日前
5	感染対策の基本 ～感染とは・標準予防策・経路別感染対策・自己防衛～	施設内感染の事例から、感染経路別対策・標準予防策・職員の自己防衛を学ぶ	看護部	質疑応答含め 40分	50日前
6	日常ケアに活かすフットケア ～転倒・褥瘡・切断リスクを減らす観察と対応～	高齢者施設職員が、日常ケアの中で足の変化に早く気づけるようにする。正しいケアと観察により、転倒・褥瘡・切断などのリスクを減らす	看護部	質疑応答含め 60分	50日前
7	高齢者の急変対応 ～バイタルサインの見方と救急搬送の判断基準～	急変サイン（バイタル、意識変化、呼吸苦など）を早期に見抜くポイントと記録・報告の方法を紹介	看護部	質疑応答含め 45分	50日前
8	体で覚える心肺蘇生法（BLS）とAED操作 ～救急車が到着するまでにできること～	高齢者施設での「心停止・意識消失・呼吸異常」などの急変時に、職員が適切かつ迅速に対応できるようにする。実技を通して、胸骨圧迫やAED操作を体で覚える。	看護部 放射線	質疑応答含め 60分	50日前
9	褥瘡・皮膚トラブルの予防と早期発見 ～スキンケア・観察・処置の基本～	皮膚トラブルの原因・予防・早期発見のための観察と処置の基本	看護部	質疑応答含め 60分	50日前
10	安全な移乗・移動介助のポイント ～腰痛を防ぐ体の使い方～	介助時の身体への負担を説明し、産業理学療法が目線から腰痛を中心にセルフケアを説明する	リハビリ	質疑応答含め 45分	50日前
11	拘縮の発生機序と対策方法 ～転倒リスクの評価と安全な介助～	拘縮の発生機序と対策方法 転倒に関する評価と介助方法を説明する	リハビリ	質疑応答含め 45分	50日前
12	もしバナゲーム体験 ～自分の死生観に気づく時間～	もしバナゲームを体験し自身の死生観を知る。	緩和ケア 認定看護師	質疑応答含め 60分	50日前
13	看取りが近い方の状態変化 ～ご家族への説明と関わり方～	看取りが近い方の状態変化を学び、家族への対応方法を身につける。	緩和ケア 認定看護師	質疑応答含め 60分	50日前
14	思いを引き出すコミュニケーション スキルを身につけよう	患者さん・利用者さんの思いを引き出すコミュニケーションスキルを身につける。	緩和ケア 認定看護師	質疑応答含め 60分	50日前
15	グリーフケアとは？ ～悲しみを抱える人にどう寄り添うか～	グリーフケアについて学び、悲嘆を抱える方への対応方法を身につける。	緩和ケア 認定看護師	質疑応答含め 60分	50日前
16	人生会議（ACP）とは？ ～自分の思いを大切にするために～	ACPがなぜ必要なのか、ACPをどのように進めたら良いのかを学ぶ。	緩和ケア 認定看護師	質疑応答含め 60分	50日前
17	便秘ケアの新常識 ～いろいろある下剤の違いと選び方～	酸化マグネシウム・センノシドなどの歴史ある薬以外にも、新規作用の下剤が多くあり、それらの違いについて学ぶ	薬剤科	質疑応答含め 30分	50日前
18	インスリン注射のポイントと注意点 ～週1回製剤を含めて～	リスクの高いインスリン製剤について学ぶ。最近は週1回投与の製剤も発売されている	薬剤科	質疑応答含め 30分	50日前
19	現場で迷わない服薬タイミング ～食前・食後で注意が必要な薬剤～	食前・食後・食直前・食直後等々気を付ける必要のある薬剤について学ぶ	薬剤科	質疑応答含め 30分	50日前